

入試年度	2025	入試方式	一般（春季）	課程	修士
研究科	法学	専攻	法学	領域（分野）	
出題のねらい					
<p>本問は、ドイツにおける倒産処理法の改正について書かれた英文を和訳をさせるものである。大学院生に要求されるべき、英文を日本語に翻訳する力と、その前提としての読解力を確認することに、出題のねらいがある。前提知識がなくても読解可能な文章を出題している。</p>					
解答・解答例または採点時の評価ポイント					
<p>英語で書かれた文章を正確に理解したうえで、正確に和訳することができるか、が評価のポイントである。</p>					